

有田焼 色絵付けの会

2017年4月27日

ぶんぶ庵 × Soleil deux & Arita 伊賀恵理子



「染錦龍文盃」

「和食器」はどこかなぜか心ひかれ落ち着きます。そのいつも使う器を自分で描けたらどんなに素敵でしょう。今回は伝統工芸の「有田焼」の色絵付けの魅力をお届けしました。



盃に龍を染付で線描きをし、一度焼成したものをご用意。有田の絵の具で色絵付けを体験していただきました。



筆を器につけずに色絵付け？という不思議な技法に、皆さんはじめはどういうことだろう？とハテナ？がとんでいる状態からのスタート

筆にしっかりと絵の具をふくませ、とんとんと筆をたたくことで下におりてきた絵の具を器にのせます。その絵の具を表面張力でひろげていき、絵の具をもちながら絵付けしていきます。

皆さんとってもいいねいな筆使いをされていましたので 仕上がりもなかなかお上手でした。

絵の具は焼く前はみんなグレーだったりして後で見ると何色を絵付けしたのかわからなくなりますが

焼きあがるとそれぞれの色に発色します。

中谷社長からもいろんなお話をいただけて すこし緊張していた気持ちがやわらぎ楽しくレッスンさせていただくことができました。



皆さんとっても集中されての作業で目もお疲れの後はぶんぶ庵のお料理でほっこりと。

本当にひとつひとついいいなお料理で『春』を感じられる目にもおいしいお料理をたくさんいただきました。





この会で 有田焼の絵付け工程を体験いただいたことで これからの有田焼の器の観る目が少しでも変わるきっかけになっていただけたらと願っております。器の絵付けなどの作り手の作成工程・背景を想像しながら器をみていただけるとますます楽しみが増えてまいります。

次回は 11 月。ぶんぶ庵ではお正月準備のお料理についてのお教室があります。そのお料理をとりわけていただけるような取り皿に吉祥文を絵付けしていただく予定です。ご参加ころよりお待ち申し上げます。